キャラクター名：エイレネ

プレイヤー名：

ポジション	アリス	**享年**	12
メインクラス	ステーシー	**暗示**	陥穽
サブクラス	タナトス	**寵愛点**	29

初期配置	煉獄
最大行動値	9

能力値	クラス	修正	合計
武装	2	0	2
変異	1	1	2
改造	1	0	1

記憶のカケラ	内容
普通の子	普通でいようと努力していた。出る杭は打たれる。目立ってはいけない。劣っても優れてもいけない。平穏に生きようとしていたのだ。けれど、そんな平穏はもう粉々に砕かれて風に吹かれ。跡形すら残っていない……。
花壇	あなたは花の世話をする。肥料を水を。虫を取り。きれいな花が咲くように。花が実を結ぶように。長い時間をかけた作業だったろうけれど。記憶の中ではすぐに流れる。あの花壇は今どうなっているだろう。
ふとん	あったかい布団の中、うとうとしながら朝日の中で二度寝。それはあなたにとって、この上ない幸せ。記憶の中ではいつもあたたかい布団の中。でも目覚めているこの世界は……いったいなんなのだろう。
ナース	「おはよう、もうおふとんから出て、起きる時間よ」「あら、綺麗なお花ね。貴方が育てたの？」「またこんな所に隠れて…貴方は本当にかくれんぼが好きね」優しい声、美しい微笑み。真っ白で退屈な世界にいつも現れるあたたかい手と、近くに置かれる綺麗な花。「＊＊＊くんとみんなが育ててくれたんだってね。[アサガオ]、とても綺麗ね」まるで母を思わせるその存在に、自分達はどんな形であれとても懐いていた。
友達	誰だったろう。かわいいカチューシャをした誰かが花壇で花を育てていた。あの女性(ひと)に、それからみんなに贈るのだと。夏から生える大きな葉っぱと色とりどりの花。空へ向かい元気に花開く姿はどこか自分達に似ている気がした。一緒に眺めた、一緒に育てた。綺麗に咲いた朝顔を病室に飾り、あの女性(ひと)に贈り、元気になって退院してもまた会ってアサガオを育てようと【約束】をしたのだ。きっと彼と自分達は友達だったのに。彼は一体どこにいったのだろう。
院長	部屋に入るなり、院長が無理やり押さえつけてきてベッドに拘束される。泣いて喚いても聞いてもらえない。近づいて来るのはキラリと光るメス。それは貴方の目を、耳を、舌を、鼻を、指を、心臓を、脳を抉りとっていく。「大丈夫さ、君たちは私の子供の一部となるのだから」最期に聞こえたのはそんな言葉だった。

未練

対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
ウツギ	恋心	3	①②③④⑤	
リア	憧憬	3	①②③④⑤	
蜘蛛女	信頼	3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	

マニューバ

タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		お姫様		ダメージ	0	0~1	ダメージを受けた際に使用可。対象の1体のアクションのコストを−1する。
メインクラス		庇う		ダメージ	0	0~1	対象のダメージを肩代わりできる。
メインクラス		死に続け		ラピッド	0	自身	損傷している基本パーツ1つを修復する。
サブクラス		死神		オート	なし	自身	白兵攻撃の出目+1。
サブクラス		殺劇		オート	なし	自身	同カウント内に姉妹と同じ攻撃対象にした際、自身の攻撃判定出目+1、ダメージ+1.
				オート			
				オート			
頭		のうみそ		オート			2
頭		めだま		オート			1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
頭		リミッター		オート	なし	自身	損傷時、最大行動値+2
				オート			
				オート			
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援 1
腕		かた		アクション	4	自身	移動 1
腕		チェーンソー		アクション	3	0	白兵攻撃2+切断
腕		合金トランク		ダメージ	0	自身	防御1+「爆発」無効化
腕		猫(アンデッド)		オート			たからもの
				オート			
				オート			
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ１つのコスト-1
胴		はらわた		オート			
胴		あるびの		ジャッジ	1	0~1	支援1
胴		はらわた		オート			
胴		うろこ		ダメージ	1	自身	防御2
				オート			